北海道看護協会　釧路支部ニュース

きんれんか

第 50 号

発行日
2019(令和元)年 8 月

釧路支部会員数
（令和元年 7 月末）

保健師	79 名
助産師	46 名
看護師	1698 名
准看護師	60 名
総数	１８８３名

≪2019 年度(令和元年度)の支部活動に向けて≫

北海道看護協会　釧路支部

支部長　服部　紀美子

会員の皆さまにおかれましては、日ごろより釧路支部の活動及び事業運営にご理解を頂き誠にありがとうございます。

今年度、釧路支部長を務めることになりました服部でございます。初めての任務に戸惑うことも多く、重責に身が引き締まる思いが致します。役員・委員の方と協力しながら支部活動に取り組んでまいります。令和元年の支部活動は、2 月 16 日の支部大会において承認されました活動を展開致します。なお支部活動は北海道看護協会の事業に沿って計画しております。

① 教育及び学会等の学術振興による看護の質向上に関する事業として、「終末期を迎える患者・家族の退院支援に必要な看護師の連携研修（道委託事業）」を 9 月 15 日に開催します。看護研究合同発表は 11 月 16 日に開催しますので、多くの方に発表していただけたらと思います。また、「医療安全ネットワーク会議」や「施設間交流研修（協会本部委託事業）」も行います。

② 看護職確保定着推進に関する事業として、「看護の日記念行事」を 5 月 11 日にイオン釧路店で行い盛況でした。高校生の「1 日ふれあい看護体験」は 9 月 24 日に行います。多くの高校生が看護を体験し看護職確保推進につなぎたいと思います。

③ 地域ケアサービスの実施及び促進による同文の健康及び福祉の増進に関する事業として、今年も「釧路町健康フェスティバル」「くしろ健康まつり」に参加し地域住民の方とのつながりを大切にしたいと思います。

④ その他本会の目的を達成するために必要な事業では「看護管理者懇談会（協会本部委託事業）」を 7 月 13 日に開催しております。
協会の活動が釧路地域における看護職員の確保・定着に貢献できればと思っております。

人と人との出会いの場に研修等を活用し交流を深めてみませんか。釧路地域の看護の輪が広がることでしょう。多くの皆様に参加して頂けるように活動してまいりますので、ご支援をお願いいたします。

2019 年度（令和元年度）【 総 会 報 告 】

〈日本看護協会　通常総会に参加して〉

市立釧路総合病院　佐藤　恵子

6 月 6 日函館アリーナで開催された令和元年度通常総会に代議員として参加させていただきました。代議員 749 名、役員及び一般参加合わせて約 2700 名の看護職が集まる中、2019 年度改選役員及び推薦委員の選出から重点政策の報告等が行われ、2 時間では足りないほどの質疑応答からは、各会員の関心の高さ、熱意を感じました。

現在日本看護協会では、「Nursing　Now キャンペーン」に取り組んでいます。「看護の力で健康な社会を！」の実現には、私たち看護職ひとり一人が社会に求められる役割を果たすべく取り組む必要があります。

少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革が進められ、看護提供の場も地域へと広がっています。総会に参加し、「あらゆる場、あらゆる人に良質な看護を提供する」という看護職の使命を改めて感じる機会となりました。このような機会を与えていただいたことに感謝いたします。

〈北海道看護協会　通常総会に参加して〉

標茶町地域包括支援センター　多津美　望

6 月 15 日札幌教育文化会館で開催された北海道看護協会通常総会に、代議員として参加させて頂きました。総会には役員 25 名、代議員 200 名、一般 496 名が出席しました。開会冒頭に来賓の方から、昨年 9 月に発生した胆振東部地震での災害支援活動について感謝の言葉があり、また、報告事項の中でも災害支援ナースの派遣や登録について報告され看護協会における災害支援について再認識する機会となりました。

議決事項の 3 議案がいずれも承認され、6 事項の報告がありました。
また、今年度の重点事項の方針として、以下の 3 点が掲げられました。

1．全世代型地域包括ケアシステムの推進
2．看護職が働き続けられる環境づくりの推進
3．看護職の役割拡大の推進と将来を担う人材の育成

今回総会に参加して、北海道看護協会の様々な活動について知ることができました。このような貴重な体験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

〈北海道看護協会　釧路支部大会に参加して〉

釧路労災病院　神田　みゆき

「多職種連携を深めて見えてきたこと～CCL の活動紹介～」と題し、特定非営利活動法人 CCL 理事の谷藤公紀先生の講演が行われた。CCL を立ち上げた当初は飲みニケーションで顔の見える関係を作り、仲間を増やしていったこと、その仲間と連携を深めてスムーズな患者ケアにつなげていったことなどが話された。

谷藤先生は、「患者が在宅でその人らしい生活を送れるよう、多職種と連携して訪問診療を行っている。患者が言葉にするニーズはごく一部であり、言葉にしない、できないニーズは何かを考えること、病気から人を診るのではなく、その人が歩んできた歴史を理解すること、職種としての役割だけでなく、チームとしてどのような役割が求められているかを考えることが重要である」と話されていた。これは、在宅ケアだけでなく病院でのケアにおいても重要であると感じ、自身のケアを振り返る機会となった。

2019 年度（令和元年）北海道看護協会 釧路支部役員

支部役職名	氏名	所属施設	役職
支部長	服部　紀美子	釧路孝仁会記念病院	副院長兼看護統括部長
第 1 副支部長	八重樫　真希	市立釧路総合病院	看護課長
第 2 副支部長	中村　千夏子	釧路市こども保健部健康推進課	保健相談主幹
第 1 書記	大野　澄江	釧路労災病院	看護師長
第 2 書記	村岡　夕子	釧路孝仁会記念病院	看護課長
第 1 会計	横澤　ひとみ	釧路赤十字病院	看護師長
第 2 会計	浅里　桂	市立釧路総合病院	看護課長補佐
保健師職能委員長	布施　友美	厚岸町保健福祉総合センター	主査
助産師職能委員長	渡辺　江	市立釧路総合病院	助産師
看護師職能委員長	大本　輝子	釧路赤十字病院	看護副部長
教育委員会	田口　聡美	釧路赤十字病院	看護師長
働き続けられる職場づくり推進委員長	佐藤　ふみ子	釧路孝仁会記念病院	看護係長
推薦委員長	白旗　春美	星が浦病院	看護部長

＊北海道看護協会　釧路支部　委員紹介＊

【保健師職能委員会】

厚岸町保健福祉総合センター　布施　友美

釧路支部の保健師加入数は約 80 名です。釧路支部の加入率は約 70%で、道内においても高い率となっています。

保健師職能委員会は委員長１名、書記２名、会計２名の５名で構成され、今年度は、保健師職能集会（２回）、助産師職能委員会との合同集会による研修会（１回）、三職種合同集会（１回）、保健師職能だよりの発行（３回）を企画・運営しています。
保健師の職場は行政機関、病院、検診センター、企業等多岐にわたり一同に集まる機会が少ないのが現状です。

そのような中、保健師同士のネットワークづくりや会員のニーズに即した研修会による専門知識の習得など、職能活動が会員の満足度を高めるものとなるよう、委員一同微力ながら取り組んでいきます。
引き続き、会員の皆様のご支援、ご協力をお願いします。

【助産師職能委員会】

市立釧路総合病院　渡辺　江

助産師職能釧路支部です。
2019 年度は、委員長・市立釧路総合病院　渡辺　江、会計・釧路赤十字病院　斉藤　昭子の２名で　活動しています。

活動目標は、①職能集会や会員間の交流を通し、助産師としての専門性の向上を図ることができる②各施設間と協働し、母子保健の向上、女性のライフサイクル全般にかかわる健康の推進を図ることができる、この２点を掲げております。

主な活動として、助産師だより年２回の発行を通し、各施設の会員の皆様へ委員活動の様子や、最新情報の伝達などを行っていきます。また、職能集会は「子どもの睡眠相談室 coucou Luna（クークールナ）代表川口リエ先生をお招きし、新生児・乳児の睡眠基礎やメカニズムについて学び、日々のケアや保健指導につながるきっかけとなればと考えております。どうぞ宜しくお願い致します。

【看護師職能委員会】

釧路赤十字病院　大本　輝子

看護師職能委員会は、看護職としての知識の向上を図ることや看護連携強化による看護の質向上を目指すことを目標に活動しています。

委員は、地域の各病院や施設、訪問看護ステーションなどの看護師６名で構成され、看護師職能集会や三職能合同集会を企画・運営しております。在宅療養が重視され、施設を超えた看護師間の連携がとても大切な絆となっています。

今年の看護師職能集会は、昨年９月の胆振東部地震後のブラックアウトの経験から、『自然災害と看護職』に関わるテーマで研修を企画しております。加えて、今年も看護師職能集会に合わせ、看護師職能Ⅱの懇談会の開催を予定します。

釧路地域の看護の連携、顔の見える関係強化のためにも、できるだけ多くの会員の皆様の研修会へのご参加をお待ちしています。

【教育委員会】

釧路赤十字病院　田口　聡美

教育委員会の主な活動内容は、研修会の企画と運営です。今年度の支部担当研修は 2019 年 9 月 21 日（土）に、さいた訪問看護ステーション今田眞智子所長を講師にお招きして、「終末期を迎える患者・家族への退院支援に必要な看護師の連携」を予定しております。また、2019 年 11 月 16 日（土）には「北海道看護協会釧路支部看護研究合同発表会」も予定しております。

教育委員会では、研修会後に皆様からご協力いただいたアンケートを参考に、研修テーマを検討しています。テーマ決定後は、講師の選定と研修内容の調整、ご案内の発送や資料の準備、当日の運営と評価という流れで研修を企画・運営しています。

私達は会員皆様の学習ニードに沿い「参加したい」と思えるような研修となるよう活動して参りますので、一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

【働き続けられる職場づくり推進委員会】

釧路孝仁会記念病院　佐藤　ふみ子

働き続けられる職場づくり推進委員会は 5 名で活動しています。委員会の主な役割は、釧路支部の活動内容について会員及び地域への広報活動と看護協会非会員の加入促進です。

広報活動として、北海道看護協会ホームページ（釧路支部）に広報誌「きんれんか」を年 2 回（9 月・2 月）発行しています。

次号「きんれんか 51 号」では、9 月 24 日に釧路管内の高校生を対象に、病院や施設の協力を得て行う「1 日看護体験」の様子や感想を掲載予定です。年々高校生の参加希望者は増え、看護職への関心の高さを感じ、将来看護の道へ進まれる方が増えることの期待が高まります。

このほか、各総会や保健師・助産師・看護師の研修報告、看護の日や健康に関する地域イベントの参加、看護研究合同発表会などの活動を掲載しています。

今年度も会員や地域の皆様に興味を持っていただけるような情報を発信していきます。

【 推 薦 委 員 会 】

社会医療法人孝仁会　星が浦病院　白旗　春美

推薦委員会は、釧路支部の活動の要となる改選される役員・委員長を推薦するにあたり、その任務を担い得る適正な人を推薦する目的を持ち、会員の皆様から公平な視点で選出し、支部長に報告する役割を担っています。

今年度は、2020 年度支部改選役員候補者　（第一副支部長・第一書記・第一会計・推薦委員 3 名）及び 2020 年度北海道看護協会代議員候補者、そして 2021 年度日本看護協会代議員候補者の推薦を行う予定です。

各候補者の推薦におきましては一施設に偏らないよう配慮し、また施設会員数や役員会出席が交通上負担にならないよう考慮し選出する予定でおります。

会員の皆様には、看護協会活動への参加の機会として、快くお引き受け頂けるよう調整をしていきたいと思います。何卒ご協力を宜しくお願いいたします。

活　動　報　告

【2019 年「看護の日」PR 活動】

（元　第 1 書記　武田　香苗）

令和元年 5 月 11 日(土)「看護の日」の PR 活動をイオン釧路店様にご協力頂き、看護の日の記念行事として地域住民の皆様へ「看護職の仕事」について PR を行いました。

「看護の日」週間の PR ポスター提示及び来店者 200 名にチラシとグッズを配布しました。このほか、健康相談は血圧測定 48 名、糖尿病療養指導士等による血糖測定には 40 名の参加があり、普段血糖測定は行う機会が少ないこともあり好評でした。
この様子は、釧路新聞に看護の日の活動と副支部長のコメントが記載され、広く PR できました。

【今後開催予定研修・イベントのご案内】

研修・イベント名	開催日	会場	内容
釧路町健康福祉フェスティバル	9 月 1 日（日）	釧路町福祉センター	地域ケアサービスの実施及び促進
支部担当研修	9 月 21 日（土）	釧路労災病院	「終末期を迎える患者・家族の退院支援に必要な看護師の連携」
高校生 1 日看護体験	9 月 24 日（火）	釧路管内 11 施設 8 校 95 名参加予定	ふれあい看護体験
看護師職能集会 Ⅰ・Ⅱ	10 月 19 日（土）	釧路赤十字病院	講演「自然災害から身を守るために」・懇談会（Ⅱのみ）
看護研究合同発表会	11 月 16 日（土）	釧路労災病院	口述 10 演題、示説 7 演題
三職能合同集会・釧路支部大会	2020 年 2 月 15 日（土）	まなぼっと	支部総会、講演会

★この他、助産師・保健師職能集会、医療安全ネットワーク研修会なども行われています。

釧路支部 看護研究合同発表会 プログラム予定 … 11月16日（土）

◆ 口述発表 10 演題

演題	病院名	発表者
術前訪問の再検討　～パンフレットを作成して～	釧路孝仁会記念病院	工藤　裕香
呼吸器外科側臥位手術における患側上肢の術後疼痛予防に対する看護	市立釧路総合病院	鈴木　扶祐子
A 病院手術室の術中急変対応への取り組み ―初期対応の統一化を目指して―	釧路労災病院	吾妻　尭
泌尿器科領域における腰椎麻酔後の安静時間を短縮して	釧路労災病院	本間　美記
糖尿病患者における外食時のインシュリン自己注射に関する現状と今後の課題	釧路赤十字病院	桑野　あずさ
慢性心不全終末期患者における意思決定支援についての考察 ―アドバンスケアプランニングの視点から振り返る―	市立釧路総合病院	岡田　奈津子
積極的治療を拒否した早期肝がん患者の意思決定に関連した構造的ライフレビューの効果	協立すこやかクリニック	藤本　美香
がん終末期にある独居患者への退院後の療養先決定に向けての支援	市立釧路総合病院	工藤　洋介
抗がん剤治療による手足症候群が患者の ADL に及ぼす影響 ～治療継続と QOL 向上に向けた看護支援を考える～	釧路赤十字病院	北川　恵
ALS 患者の「病い」の経験の語りからみえた看護の一考察	釧路労災病院	高田　慶子

◆ 示説（ポスター）発表 7 演題

演題	病院名	発表者
院内環境ラウンドの取り組み	星が浦病院	芳　真樹
化学療法センターの移設、拡充における課題の検討	釧路労災病院	村山　由佳子
ブリストルスケールを導入した排便ケアの取り組み	星が浦病院	大内　知美
KT バランスチャートを活用しての食支援への取り組み	星が浦病院	土田　かほる
ICU 入室患者における早期離床に対する援助	市立釧路総合病院	藤田　杏莉
急性期病棟看護師が関わる退院支援・調整の実態調査から今後の課題を明確にする	釧路協立病院	渋谷　悠子
腎癌骨転移により下肢麻痺となり危機的状況に陥った患者への精神的ケアの振り返り～フィンクの危機モデルを用いて～	市立釧路総合病院	升本　由夏

★多くの方のご参加をお待ちしております。詳細は教育委員会からの案内をご確認ください。

編集後記

8 月初旬は全国的に異常な猛暑が続き、釧路地区も暑さが厳しく「涼しくない釧路」になりましたが、会員の皆様の体調はいかがでしょうか。令和初、きんれんか 50 号の記念号です。多くの方にご覧いただけると幸いです。

編集委員／佐藤ふみ子　布施由美子　齋藤真人歌　栗本芳　齋麻美

発行者

北海道看護協会釧路支部
編集責任者／服部　紀美子
担当／働き続けられる職場づくり推進委員会